日本学士院
第五十二回公開講演会

共催 大谷大学

講演1
電子で見るミクロの世界

講師 外村（とのむら） 彰（あきら）

日本学士院会員
株式会社日立製作所フェロー

日本学士院会員
京都大学名誉教授

講演2
世界における「無の思想」
―西田幾多郎、鈴木大拙、西谷啓治―

講師 上田（うえだ） 閑照（しずてる）

開催日 平成22年5月29日（土）
時　間 午後1時30分～4時40分
（開場1時、質疑を含め各講演80分）
場　所 大谷大学響流館メディアホール

※申込方法等については裏面をご覧下さい

日本学士院第 52 回公開講演会

日本学士院では、広く一般の人々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春・秋２回実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。本講演会は日本学士院会員の話を聞ける数少ない機会です。是非、奮ってご参加ください。

講演 1　電子で見るミクロの世界

電子は、“粒子”であると同時に“波”としても振舞う。互いに相容れないこの２つの性質は、アインシュタインをはじめとする多くの科学者を悩ませ続けてきた。しかし、こうした理解し難い電子の振舞いも、最先端技術によって直接検証され、今や、自然科学の最も根本的な現象と見なされるに至った。我々は、レーザーのような“干渉性の良い電子線”を40 年にわたって開発し続けてきたが、これにより、電子の波の性質が観察できるようになり、これまで見ることのできなかった“ミクロの世界の不思議”を目のあたりに見ることが可能になった。この手法は物理学の基礎実験のみならず先端技術の極限的な計測手法として期待されている。

講師
外村（とのむら）　彰（あきら）
日本学士院会員
株式会社日立製作所フェロー

講演 2　世界における　「無の思想」
―西田幾多郎、　鈴木大拙、　西谷啓治―

「有と無」は「考えながら生き、生きながら考える」私たち人間の思惟を導く根本語であるが、自覚的に「有」をその基礎範疇とする立場と「無」を基礎範疇とする立場が、世界思想史において際立った伝統を形成してきた。「有」を「有るもの」の究極の根拠とする立場は「無」を「非有」とし、その故に「有」に依存すると見る。それに対して、例えば「有は無より生ず」（老子）と見る立場にとっては「無」は「有に非ず、無に非ず」という高次の否定であり、限りない創造性を秘めている。二つの伝統の出会いからどのような意義を持つ新しい思索が生まれたか、西田、大拙、西谷三者の哲学に即して考察してみたい。

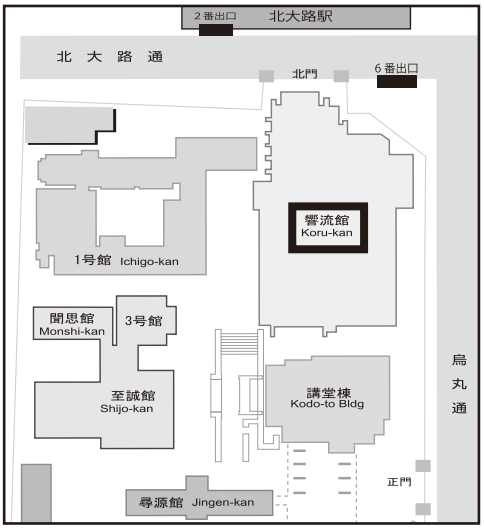
講師
上田閑照（うえだしずてる）
日本学士院会員
京都大学名誉教授

お申し込み・お問い合わせ先

日本学士院　公開講演会係
〒110-0007　東京都台東区上野公園 7-32
TEL: 03-3822-2101　FAX: 03-3822-2105
e-mail: kouenkai@japan-acad.go.jp

お申し込み方法　※事前にお申し込みください。

e-mail、ファックスまたは往復はがきのいずれかの方法で、住所、氏名（フリガナ）、電話（ファックス）番号、メールアドレス等の、連絡のとれる連絡先を記載して、上記にお送りください。本院ウェブサイト（http://www.japan-acad.go.jp/）からもお申し込みできます。お席に限りがございますのでお申し込みはお早めにお願いいたします。**（入場無料）**



会場案内図

京都市営地下鉄烏丸線
「北大路」駅より徒歩1分
北門すぐ目の前
※車での来場はご遠慮ください